

採石地の採掘完了後には、通常大きな斜面と相応の平地や凹地が残る。採石業者は凹地を造ることを目的としている訳ではないのだが、結果そういう地形が出来てしまうのである。

その跡地に着目し、産業廃棄物の最終処分場として利用しているジークライト(株)という会社がある。

ジークライト社は、山形県米沢市にあり(米沢市といっても石を投げると福島県に届く県境地帯)ゼオライト(沸石)を採掘していた鉱山である。最終処分場転用までには、紆余曲折があったようであるが縦割り行政の溝を根気よく埋め、地元住民の理解を得て開業したとのこと。その着眼点や先見性は参考になる点が多い。採掘跡地は、後向きに考えればお荷物だが、前向きに考えると色々な可能性が見えてくる。



不自由<不便

電車で福島へ行く機会があった。仙台で乗り換えなければならぬ。つい不便だと思ってしまう。昔と比べたら座っていれば目的地に着くのだから十分便利であるはずなのだ。

社会の進歩、発展は私達に新たな時間を与えてくれたがその時間はゆとりとしては使われていない。より早く、より遠く、より多く、より濃密になどなど私達の欲求には果てがない。

震災後、不便とを感じる場面が何度かあった。しかし、不自由未満の不便なら許容してもいいのではないだろうか。そういう価値を作り出す歯車が回り始めている気配が感じられる一年だったと思う。

野田村 炊き出し

岩手県産業廃棄物協会県北支部による復興支援野田村炊き出しボランティアが、11月23日(勤労感謝の日)に行われました。当社からも2名が参加し、お手伝いさせていただきました。当日のメニューはポン酢で頂く水炊きうどん。準備した量すべて完食。



これから寒さも本番。温かいうどんを被災者の皆さんに心も体も温まっていたければと思います。



編集後記

一年があっという間に過ぎていきます。フクタニュースもなんと来月お正月号

は90号!(驚) 時々楽しみに見てるよ!と声をかけて頂けると嬉しくて...!来年もお客様とフクタのパートナーシップに繋がるよう頑張ります!

今年も残すところあと1カ月!
いろんなことがあって(ありすぎて...?)
大震災も大雪も遠い昔のように思えてしまいます。大の字をキーワードに砕石部の1年を振り返ります!

1. 大震災 3.11

なんといっても最大の出来事は、大震災でした。幸い人的にも物的にも被害はありませんでしたが、その後色々な影響が出ました。

2. 大雪 1.01

元旦早々、腰まで埋まるほどの大雪。3日間の停電もあり、多難な一年を暗示するかのようでした。

3. 大風 5.02

春の嵐、猛烈な風で産廃プラントの塀が倒されました。

4. 大雨 9.21

台風15号による大雨。火薬庫が浸水するという被害を受けました。

5. 大型 6.20

80t級油圧ショベルを更新しました。

6. 大改造 7.05

砕石プラントの主機である2次クラッシャーを交換しました。

7. 大歓迎 6.04

安代小学校の皆さんが見学にいっていただきました。

8. 大満足 6.12

プラントまでの運搬路の舗装補修を行いました。

9. 大節約

プラントの運転パターンを考慮し、節電に努めました。

10. 大転換

自然の驚異を思い知らされた一年でした。来年は大転換し、良いことがたくさんありますように願います。

再度お願い!

今年の4月より廃棄物処理法が施工されましたことは既にお知らせいたしました。その中で廃棄物の運搬又は処分の受託者は、マニフェストの交付を受けずに、産業廃棄物の引渡しを受けてはならない(6ヶ月以下の懲役又は50万以下の罰金)ことになっています。廃棄物の適正な処理に向けて皆様のご協力とご理解をお願い致します。

